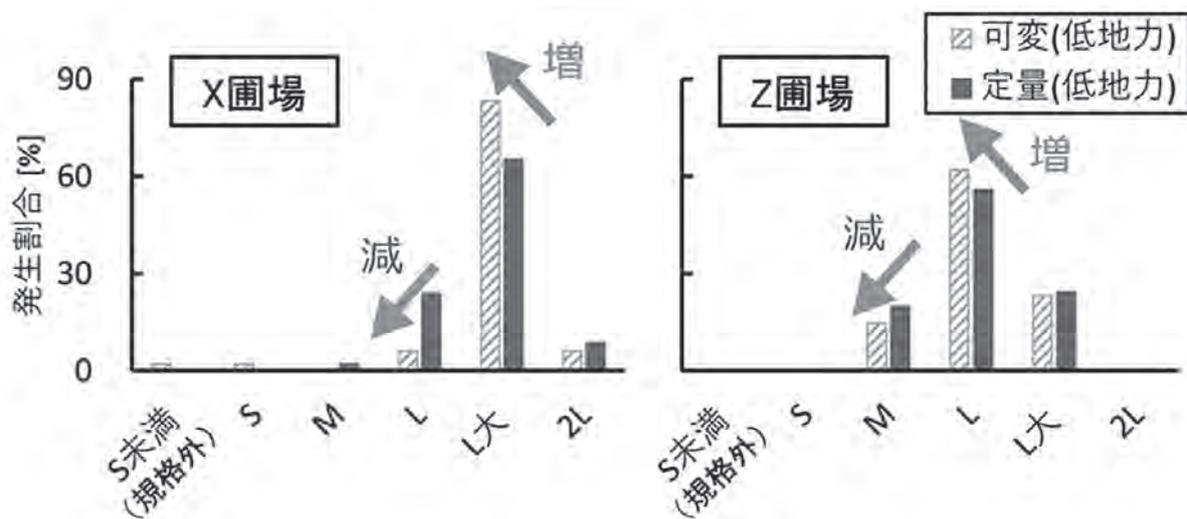


図3 にんじんの規格内収量

たまねぎでは、地力の低い箇所のみ増肥することで、球大がやや向上しました。



注) 地力が低く、可変施肥により増肥した箇所での効果

図4 たまねぎの規格内訳

3. 留意点

- (1) 本技術は畑・野菜輪作体系の中で活用できます。
- (2) 本技術は圃場内の生育ムラが窒素栄養条件の差に起因する場合に活用できます。

(成績名：畑輪作におけるにんじん・たまねぎに対するマップベース可変施肥技術の適用)

もう少し詳しい情報はこちら
 検索は、「農業技術情報広場、一般課題R1」で



本技術内容についての問い合わせ先
 道総研十勝農業試験場
 電話 (0155) 62-2431
 E-mail: tokachi-agri@hro.or.jp